



# なすびの花



発行者：検査課

掲示期限：令和2年11月30日 (月)

掲示許可：総務課

## 2020年品質月間に向けて

先月号でも少し触れましたが、11月は、品質月間です。

今年のテーマは、

**みんなでつくろう 新たな価値と 変化に負けない組織力**

です。

我が社では、長年にわたり、ISO9001やISO14001に取り組み、品質環境マニュアルを整え、ルールに則った仕事をしてまいりました。

そのシステムの中で、内外の監査や社内会議を経て、様々な課題を解決しつつ、『作業の質』『人の質』『システムの質』を、ブラッシュアップしながら、今日に至っています。

これからも、時代の流れとともに、課題は変化していきますが、その都度改善し、品質維持向上に励んでいきたいところです。

今年、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行が大きく影響し、世の中の情勢、働き方、プライベートでも、誰もが身をもって変化を実感しました。

変化に負けないような、新しい価値とはなんでしょうか。

皆様は、『レジリエンス』という言葉をお聞きになったことはありませんか？

『レジリエンス』とは、逆境や困難、強いストレスに直面したときに適応する精神力と心理的プロセスでしなやかに戻る回復力や緩衝力、適応力を指す言葉です。

昨今、企業においても、起こり得る問題やミスに柔軟に対処し、環境変化に対しても高い適応能力である、この『レジリエンス』が求められています。

この『レジリエンス』を鍛えることで、様々な変化に対応できる力、逆境に立ち向かう力を養うことにつながります。

『レジリエンス』の高い人は、

- ① 失敗を糧に成長することができる
  - ② メンタルが落ち込んでからの復活が早い
  - ③ ありのままの自分を受け入れている
  - ④ 難題にも果敢にチャレンジし諦めない
  - ⑤ 自分も他人も信じていることができる
- という5つの要素を持っています。

職場全体で『レジリエンス』を鍛えると、失敗しても素早く立ち直り、強固な組織になります。

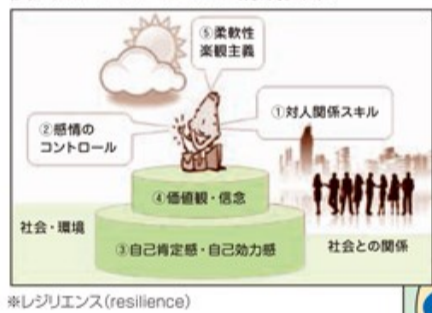
また、想定外の事態にも柔軟に素早く対応することが出来ます。

職場のレジリエンスを發揮するためには、全員が、心身ともに健康で、前向きな言葉を心掛ける、明るい職場を維持していくことが効果的です。

会社が職場環境を整えることは大切ですが、『レジリエンス』を身に着けた従業員が増えることで、より強い組織づくりが期待できます。

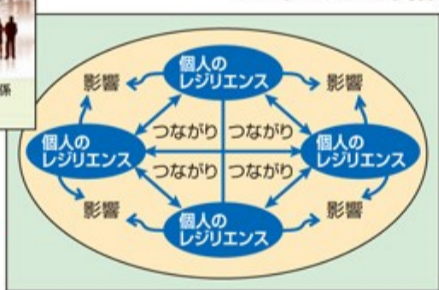
ここ何号か、『社内教育』について取り上げていますが、『社内教育』の中でも、**ポジティブな思考**を引き出す工夫を取り入れて、組織力を上げましょう。

個人のレジリエンスの構成要素



1人1人がしなやかさを高める

個人と組織のレジリエンスの関係



しなやかな個人がしなやかな組織をつくる



## 掃除の方程式

先日、掃除についての面白い読み物を読みました。クリーンプロデューサーの植木照夫さんが考案された掃除学についての読み物です。

掃除の基礎理論、掃除の方程式が書かれています。

### 掃除方法の決定

#### 現状分析×作業法

掃除方法を決定するために、現状分析の情報収集し、汚れている場所や素材についての情報や知識、現状の状態になるまでのプロセスを考慮し、分析を行います。

分析の結果を用いて、何を使つてどのように行うのか、作業方法を抽出するのです。

そして、掃除方法を決定する際に予防についての対策も考え、次回の掃除が楽になります。

よく、『**数学的思考**』という言葉が聞かれますが、この言葉を思い出しました。

数式を解くわけではなく、**数学の考え方を使って、問題解決の糸口やヒントにする**というものです。

お掃除もですが、会社での仕事も、私たちは、知らず知らずのうちに、このような分析をしながら、いかに効率良く作業ができるかを考えながら、暮らしているのだなあと思いつつ読みました。

掃除学についてのお話を詳しくお読みになりたい方は、所属長または検査課にお申し出ください。



掃除の方程式 (うえきの方程式) : 現状分析 × 作業法 = 掃除方法の決定

